

# おめでとう100号!



とじて保存して下さい

しでがの通信  
 第 100 号  
 羽津小 P・T・A  
 編集発行  
 発行所 羽津小学校

## 「しでがの」百号によせて

P T A 会 長 広 瀬 達 士

P T A 広報誌「しでがの」が、百号の発刊をするにあたり、心からおよろこび申し上げます。日頃は、何かとお忙がしい中、学校教育、P T A 活動にご協力賜わり、厚くお礼申し上げます。「しでがの」も早いもので百号を発刊出来るはこびとなり、誠によろこばしい限りです。これも諸先輩方の努力と愛情の蓄積によるものと深く感謝致しております。この百号を発刊するにあたり、広報部長をはじめ、部員の方々の努力には頭の下がる思いです。百号を一つの節目として、題字のタイトル図案の募集から、内容の検討、その他諸々のきめ細かい話し合いがなされ口では言えないご苦労をされたことと思いません。

素人の編集で経験も浅く、必ずしも納得のいく内容ばかりとはいきませんでしたが、情熱だけは他の何物にも負けることは無いと思います。これを機会に、広報活動の意義を考え、地域、学校、家庭のパイプ役として、広報誌作りが今後更に充実した魅力あるものにする為には、多くの方々にご投稿して頂きみんなの広報誌となることを願っております。後になって恐縮ですが、この一年間微力ではありましたが、なんとか会長の任を努めることが出来ました。これも会員皆様方のご協力があったのことに紙面をお借りしお礼申し上げますと共に、今後も、益々のご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。

次	「しでがの」百号によせて	1
1	百号によせて	2
2	広報部の活動	3
3	よりよい広報紙にするために	4
4	民話シリーズ (十)	5
5	あなたにスポット	6

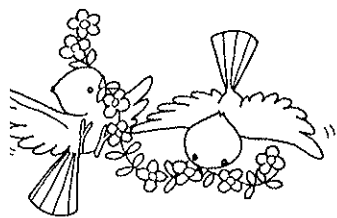
# 百号によせて

## PTA活動の思い出

昭和四十一年度会長 木村昌平

当時を振り返って見ますと、地区全体が人口増加により生徒数も増し、特別教室も無く、日常学習が充分に出来ないのが、前年度より連合自治会とPTAが市当局に要請し、四十一年から四十二年に渡り、現在の校舎の内、六教室が建設されました。それに合わせるかの様に、当校が図工科の研究指定になり、PTAは校舎外の整備を受け持ち、花壇作り、中庭に池作り、校舎周辺に桜、さつき等移植作業を行うこととなりました。生徒とPTAが共同で完成させ、四季の草花や、池の鯉等を育てる喜びを生徒自身が体で体験して、学習に体力作りに励み、この研究会で笑顔も増して一歩前進したと思えます。この時に「しでがの」が発行されたのではないかと思います。百号記念お祝申し上げます。

この様な研究会等が行なわれますと、PTA資金に限度がございます、それ故に会員の皆様にお願ひして保険集金代行を取り入れた訳です。当時四日市市の学校では、港中学が代行しておりました。思い出せば二ヶ年の間、数多くありますが、最後に現在羽津地区も小学校が二校になり、生徒数も多し中、笑顔ある明るい学校作りにより、PTAが一致協力してよりよい羽津地区の明日を築いて下さい。



# あの日あの頃

五十一年度会長 谷嘉昭(県議会議員)

広き知識を身につけて、世界の平和うちたてむ、と校歌の結びにあるように、豊かな人間性を養うために子供達の教育に平素校長先生をはじめ、御父兄の皆さんの献身的な御努力に深く敬意と感謝を表します。さて十年ひと昔と言いますが、当時地域の発展はすばらしく、急増する生徒に、学校施設が追いつかず当然PTA活動も施設整備のため、市や教育委員会への陳情運動が主でありました。しかし子供達には、たとえ校舎はプレハブでも体育館が無くとも、羽津の子は誰れにも負けない強い子、羽津の子をめざせと、地域ぐるみで育成会の充実やスポーツクラブの結成に夜間何度も地域の皆さんと話し合う事が主な活動でした。子供達もそんな思いやりに頑張っ

☆☆☆☆☆☆  
☆☆☆☆☆☆

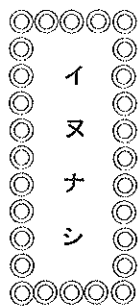
本校のPTA活動の一つとして二十年にわたり、広報誌「しでがの」が発行されております。

諸先輩方のご努力で、今日まで成長してまいりました「しでがの」も本誌が第百号に当たります。

百号によせて、今から十年前、二十年前のPTA会長さんに、当時を振り返って頂き、PTA活動、学校、子供たちの様子などを綴っていただきました。

経験の浅い広報部員一同、それぞれの生活サイクルの中で、時間をやりくりしての「しでがの」作りでしたが、協力して下さった先生方、たくさんの方々のおかげで、本誌の発行ができたことを心より喜んでおります。

今回の「しでがの」より、タイトル図案が、イヌナシの絵に新しく変わりましたが、案外知られていない、地元で生息しているイヌナシについて、詳しく池田教頭先生にご説明をしていただきました。



イヌナシは日本の野生ナシの中で、最も原始的な種で、その果実の大きさは、直径が1cmほどのので別名をマメナシともいう。花は純白で満開時には樹木全体が真白になり非常に美しいものである。

明治35年、志氏我野(山手中学校の東)で発見され、牧野富太郎博士によって命名され、世界の学会で紹介された。イヌナシの自生地は他に無いことから学術的価値が高いとされ、大正11年国の天然記念物指定となった。

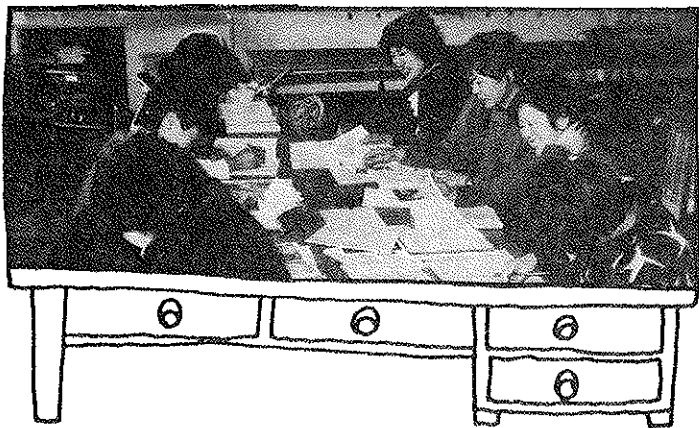
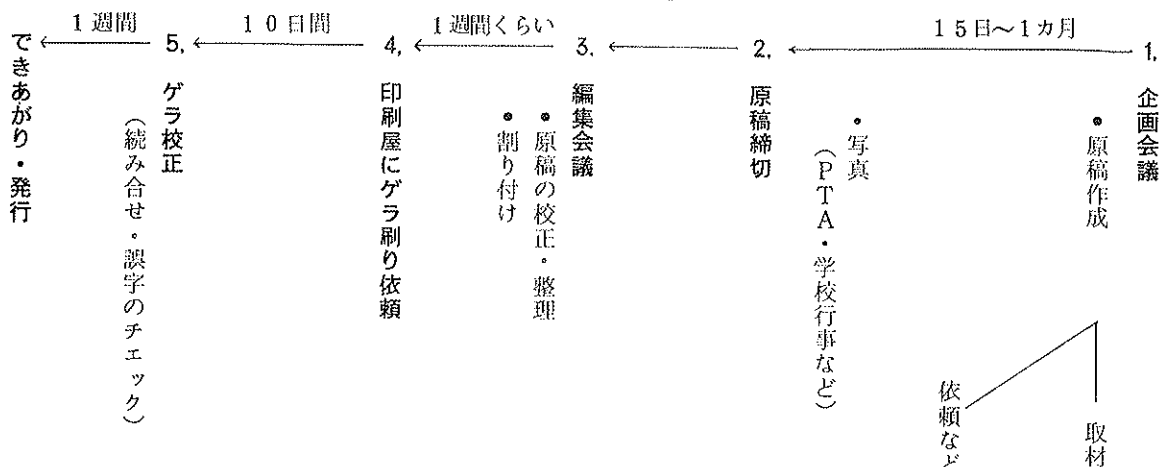
PTA広報紙「しでがの」のタイトルにふさわしい木である。

### おわびと訂正

第99号でお知らせ致しましたタイトル図案の原作者、前田茂也さんは茂世さんの誤りでした。おわびして訂正致します。

# 広報部の活動

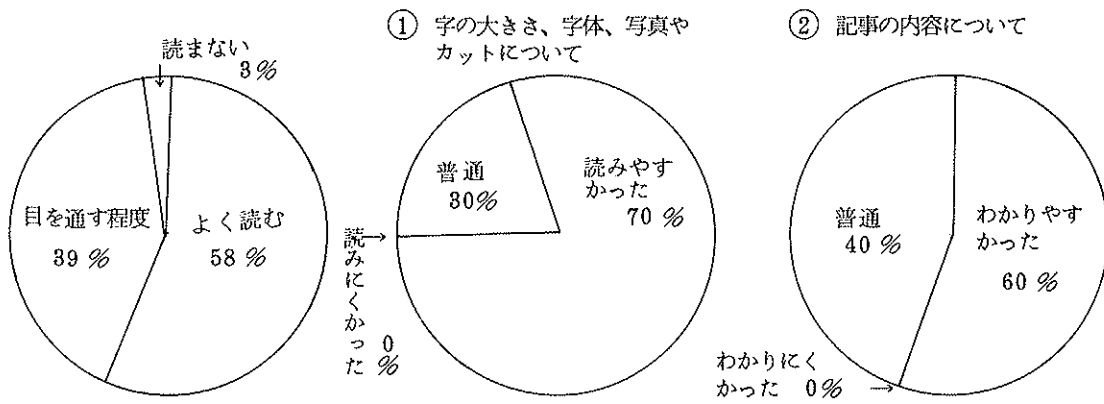
## 広報紙「しでがの」ができるまで



今後「しでがの」が多くの会員の皆様に喜んでいただける様に常任委員さん、学級委員さん、その他の会員の皆様にアンケートを取らせて頂きました。その結果をお知らせします。

## よりよい広報紙にするために

問1、「しでがの」を毎号読まれますか 問2、「しでがの」96~99号について



問3、今年の記事(96~99号)の中でよかったもの、よくなかったものについて書いてお書き下さい。

**A、よかったもの、よくできていたもの (ベスト5)**

- ① 民話シリーズ
- ② 先生紹介
- ③ 親子でクッキング
- ④ 修学旅行  
・あなたにスポット
- ⑤ 海外視察雑感

**B、よくなかったもの、あまり感心できなかったもの (ベスト5)**

- ① 親子でクッキング
- ② 地区懇談会
- ③ クラブ紹介
- ④ みどりの学校
- ⑤ 先生紹介

問4、今後は、どのような記事を載せてほしいでしょうか。また、広報紙「しでがの」について意見をお書き下さい。

**載せてほしい記事**

- ▲健康に関する事 ▲料理 ▲地区、他校の紹介 ▲先生方の教育方針 ▲インタビュー ▲ことわざ ▲一言日記 ▲子供達の学校での様子 ▲子供達の作品 ▲家庭の意識調査 ▲親子に関する記事 ▲多くの人の感想、意見

**しでがのについてのご意見**

- ▲記事の内容が少し遅れる。
- ▲発行回数によるためと、でき上るまでにある程度の日数がかかるためです。
- ▲申し分けありません。
- ▲活字を大きくしてほしい。
- ▲写真が不鮮明。
- ▲色々工夫をこらして楽しく読ませて頂いた。
- ▲広報部員はどんな方が?
- ▲前年度の部員さん三名と、あとの方は無理をお願いして協力して頂きました。
- ▲毎年そうだとおっしゃいますが、部員探しに苦労致しました。会員の皆さまの中でご協力頂ける方がみえましたら、※ぜひお申し出下さい。
- ▲たくさんお寄せ頂いたご意見は、後日検討してできる限りご期待にそえる様、努力したいと考えております。

## 民話シリーズ (十)

### 一 創作民話 一

# 衣笠の九年保

教頭 池田 昭

むかし、むかし。桜の北垣内(今の四日市市桜町)は、とてもおいしい米が取れ、酒づくりの米や、すしにして食べるには、もってこいの上等米であった。人々は「津桜米」といって大切にしていた。

ところが年貢の取り立てが、このほかきびしく、百姓たちは苦しめられていた。代官所では「わり升」で量るからだ。「わり升」というのは、代官所だけで使われるもので、百姓たちが使う一斗升(15升入る)と違って、一斗二升(18升入る)も入るものである。そのうえ代官は、取れ高検地といつて春になると田んぼの広さを計りに来るのだ。そして少しでも荒れ地が耕されて田んぼに作られていると、百姓たちの言い分も聞き入れずにその分の年貢を付け加えるのである。

毎年毎年続けられる検地と年貢の取り立てに北垣内の百姓たちは泣かされどおしだった。

「おら、もうこれ以上しんぼうできんわ」と怒り出す者。「しんぼうにも限度いうものがあるでう」と目をむく者があつたが、

「もう一度、代官様をお願いして少しでも減らしてもらおうに。」などと気の弱いことをいう者もあり、あとのたたりを恐れて、「何度願ひ出てもいっしょじゃ。なぐられて、ほうり出されるだけじゃ」と、ひっこんでしまう者も多かった。

何年も前から百姓たちは、こんなグチをこぼしていた。

殿様が江戸から帰ったその年は、日照りが続いて外を歩くと目まいがするよう暑い夏だった。それでも北垣内の田んぼの稲は、北山のふもと沼から流れ出る水のおかげで干あがることもなく花をつけ始めていた。

きょうも代官は衣笠をかぶり、相変らず馬の上でふんずり返つて

稲の出来ぐあいを見にやって来た。百姓たちを人間とも思わない代官、えらそうな顔して百姓泣かせのきびしい調べをする代官に、きよりのとりわけ激しい暑さのせいもあって、百姓たちのたまりにたまった堪忍袋は、とうとう破れてしまった。

「それえ、やっつてしまえ。」

だれかの死にそうなどなり声に多勢の百姓たちは手に手にくわやかまを振り上げ代官めがけて突き進んでいった。

「ウワーウワー」と言葉にならないうめき声に似たさけびが、北山にぶつかって返ってきた時には、代官は馬から引きずり落とされていた。百姓たちにかつがれて北山のわきの底なし沼に投げ込まれた代官は、深い沼に沈んで二度と姿を見せなかった。

やがて、沼の水面を見つめていた百姓たちの目に、代官のかぶっていた衣笠がポツカリ浮いているのが見えた。そうして、その衣笠はだんだん大きくなり始めたのだ。大きく大きくなって北山の方へ音もなく飛んでいった。北山の田んぼの上に大きく広がった衣笠は、すっぱり田んぼにかぶさったのだ。

ただ、ぼおとまばたきもせずに見つめている百姓たちの目から田んぼにかぶさった大きな衣笠が



霧が晴れるかのように、すうっと消えてしまふまでには、そう時間はかからなかった。

新しい代官が来て、今までのように取れ高検地をするのだが、北山の田んぼには目もくれずに帰つてしまふのだった。稲が重く穂を垂れて実っているのに代官は気づかないのだ。

こりゃあ、きつと、前の代官が罪ほろぼしに田んぼをかくしてくれただけに違いない。

と百姓たちはささやき合った。

衣笠のかくし田んぼは、それから九年も見つけられないで、秋にはおいしい米を実らせた。もちろん、年貢の取り立てもなかった。

いつの頃からか、このことを「衣笠の九年保」というようになったといわれる。

# あなたにスポット

## 一年間の活動を終えて

### 補導部

部長 山本英明

補導部をお預りし早一年になりました。主な行事としまして

七月 志氏神社小祭パトロール

八月 夏休みパトロール

盆おどりパトロール

十月 志氏神社大祭パトロール

十二月 冬休みパトロール

等以上の行事がありました。無事終わる事が出来ましたが、

諸先生はじめ本部役員並びに部員の方々、会員の皆様方の御協力があった事と深くお礼申し上げます。

### 安全部

部長 小井克一

何もわからないまま安全部長という大役を、お引受けし早一年が過ぎてしまいました。その間先の方、会員の皆様方等、たくさんの方々の御協力を頂きまして、交通安全教室等々の行事を無事終らせて頂くことができ、まことにあり

### 福祉保健部

部長 北出賢博

がとうございました。今後とも、子供達の安全につきましての御指導、御協力をお願い申し上げます。

秋の研修旅行で呉竹の墨工場を見学して、一本の墨の誕生に大変感動しました。一年間、PTAの皆さまのご協力で、無事修了できました事を、この場をおかりして感謝致します。

### 環境整備部

部長 稀代輝雄

五月 校庭内の花壇移設工事

チエンブロック基礎工事

六月 樹木の消毒

八月 PTA全員奉仕作業

年四回 焼却炉の灰処理作業

この一年、一見困難に見える事もありましたが、無事恵まれた環境整備ができた嬉しく思っております。

これも皆様の御協力のたまものと

### 母親部

部長 武藤まり子

心より感謝し、厚くお礼申し上げます。

皆様にアドバイス、協力していただきながら、何とか一年間の行事を終了することができました。本当におかげ様でと感謝しております。子ども達の背後で、私たち母親も、相互にいつでも意見を交換し、又反省しあえるようなつながりを一人でも多くの人もつことができたらし、と思えます。いろいろとありがとうございます。

### 学年学級部

部長 飯田敦子

先生方や、会員の皆様の温かいご支援により、学年学級部としての行事を、全て無事終える事ができ大変感謝致しております。給食試食会、懇談会、学年行事、両親学級等、思い出せばいろいろありましたが、どれもご父兄の皆様の積極的なご参加をいただいたおかげで、盛大な又、有意義な行事となりました。皆様方のご協力、どうもありがとうございます。

### 広報部

部長 加藤純子

広報部は、今年度のしめくくりとして、皆さまのお手元に「しでがの」百号記念号と卒業記念号を同時にお届けいたします。

おかげさまで、年間計画通り、「しでがの」を発行することができ、感謝しております。

部員の方々に温かく支えて頂いたこの一年間のかかわりは、私の中で確かな足あととして残すことができました。本当にありがとうございます。

又、全般を通して原稿をお寄せ下さいました皆さま、その他ご協力頂いた多くの皆さまに心よりお礼申し上げます。

### 編集委員

- |        |       |
|--------|-------|
| 工市川 淳子 | 村上 智子 |
| 五十橋孝子  |       |
| P山口千代子 | 坂江伊都子 |
| 安田枝美子  | 大森 良子 |
| 中錦 郁子  | 奥村みつ子 |
| 伊藤 幸子  | 新間香代子 |
| 小井 幾世  | 森 朱美  |
| 井上キヨ子  | 加藤 純子 |